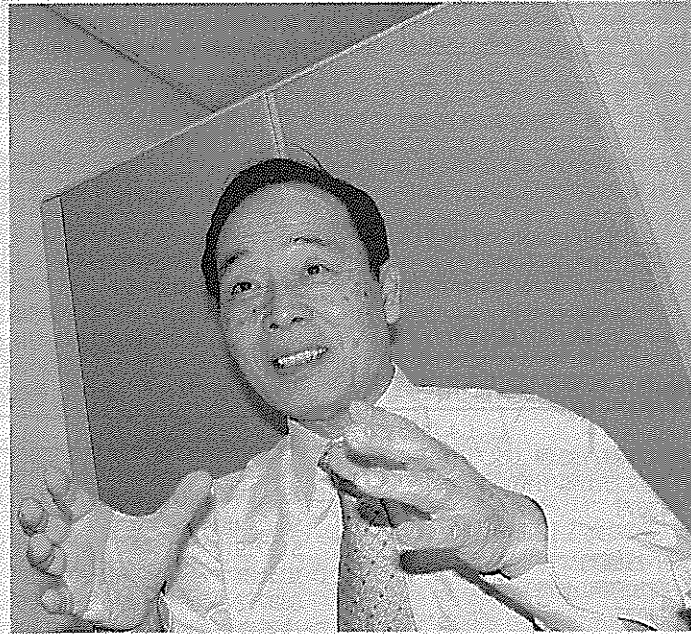


エコアクション21の普及に取り組む大畑明氏

京都議定書の発効はじめ、地球規模で環境への取り組みが求められる現代。大手企業では既に環境ISO14001を認証取得するなど、環境への取り組みをCSR（企業の社会的責任）として進めているが、中小企業においては「環境対策は金がかかり、メリットは少ない」と考える経営者が少なくない。しかし大手企業との取引、入札参加条件と、環境への対応が中小企業の死活問題となってくるのも事実だ。そうした「環境経営」がキーワードとなっている中で、「安く、簡単に、速く」構築する環境マネジメントシステム『エコアクション（EA）21』が注目を集め始めた。地道なセミナー活動など中小企業向けにEA21の普及を図る環境研カンパニー代表で、NPO法人大阪環境カウンセラー協会執行理事の大畑明氏に、EA21についてインタビューした。

（聞き手 大阪支局＝黒岡晃）



大畑明氏＝環境研カンパニー 理事 栗本鐵工所本社で環境管理部長として5年間、全4—1100大阪駅前第4ビル11社の環境管理を担当。6工場階10号cube ☎06 (4799) のISO14001取得支援と9065) 代表、NPO法人大阪「営業ISO」を目指した本環境カウンセラー協会「EA社支社店ISO14001同時取得（事務局長）を行った。

【エコアクション21】

環境への取り組みを効果的・効率的に行うシステムを構築・運用・維持し、環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価し、公表する方法として環境省が策定したガイドラインに基づき、審査人による審査、認証・登録制度。中小企業でも容易に取り組み、環境だけでなく経費の節減や生産性・歩留まりの向上、目標管理の徹底、経営的にも効果がある。①環境への負荷の自己チェックの手引き②環境への取り組みの自己チェックの手引き③環境経営システムガイドライン④環境活動レポートガイドラインの4つのパートで構成。

■一般にはまだなじみが薄いEA21ですが。

大畑 環境省が推進するEA21は、16年度から審査制度を取り入れ、内容をグレードアップし、国を挙げて環境対策に乗り出しています。EA21は、安く、簡単に、速く環境対策が可能となる、中小企業に有効なシステムです。最初に認証されたのが、マコト電気（大阪市）と神戸製鋼所西条工場で、4月20日に建設コンサルタントの井沢設計（八尾市）が4社目の認証登録となるなど、「西高東低」で関西企業の取り組みが目立っています。

■ISO14001との違いはどういった点にあるのでしょうか。

大畑 国際基準と違ってEA21は国内独自のもので、特に中小企業が環境への取り組みについてPDCA（計画・実施・評価・見直し）サイクルを回すシステムとして最適です。取得費用も25万円から35万円とISO14001の認証取得に比べて格安です。たとえるならISOがジャンボ機ならEA21はYS機。



今後広く認知されることで、中小事業者にとって大きな味方となります。

中小企業に最適な環境経営システム

西高東低、で着々と広がり

「安く、簡単に、速く」構築

■今後は産業界に広く認知されるよう普及活動が重要となりますね。

大畑 そうです。EA21の認証登録が「西高東低」であるのは、一つには関西での地道なセミナー活動などが実を結んでい

るのではないのでしょうか。また関東に比べて、中小企業の割合が多いことや、（EA21が）もうかる方向につながっていることも、関西で着実に広がりを見せ始めた原因ではないでしょうか。普及に当たっては、行政の

上のレベルがもっと有用性を発言して欲しいですね。国としては（EA21という）「素材」を作ったわけで、それをコンサルタントや事務局が「料理人」としてどう料理するのか。民の取り組み

ISO14001とEA21の共生 —互いのデメリットをメリットに変えて—

	メリット	デメリット
ISO 14001 例(国際規格、ジャパン機構)	・国際規格（国際取引） ・名前が(ブランド) ・知名度がある ・国際信用がつく	・高コスト(構築費) ・システムの要求事項が中小企業に重い ・パフォーマンス評価がない ・環境報告書を持たない
EA21 例(国内規格、YS機)	・国内規格(国内取引) ・低コスト(構築費) ・費用対効果大 ・システムが中小企業向けであるがISO取得対応も配慮(推薦事項特価) ・パフォーマンス評価、環境活動レポートを持つ	・国際規格でない ・名前がない(ノンブランド) ・知名度がない ・国際信用につながらない

が重要となっています。役割分担しながら、自主的に取り組んでいくことが求められています。